



2026年2月3日

各 位

会社名 小林製薬株式会社  
代表者 代表取締役社長 豊田 賀一  
コード番号 4967 東証プライム

**特別損失（減損損失）の計上、通期業績予想の修正、  
および個別業績予想の前期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、保有する固定資産について収益性の評価を行いました結果、2025年12月期（2025年1月1日～2025年12月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上することといたしました。これに伴い、最近の業績動向および当該特別損失の計上を踏まえ、2025年2月10日に公表した通期業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算においても前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりましたので併せてお知らせいたします。

記

**1. 特別損失（減損損失）の計上**

当社は2025年12月期において、以下の通り固定資産の減損損失（14,645百万円）を計上いたします。

その内訳は、宮城県黒川郡大和町に建設中の医薬品工場（以下、「仙台新工場」といいます）につき13,437百万円、およびタイ王国の現地法人KOBAYASHI Pharmaceutical Manufacturing (Thailand)Co., Ltd.（以下、「タイ製造子会社」といいます）にて建設中の工場（以下、「タイ工場」といいます）につき1,207百万円となります。

**(1) 仙台新工場について**

仙台新工場は、「全世界に供給可能な医薬品工場」をコンセプトとし、2025年の生産開始を予定しておりましたが、各国が定める医薬品製造に関するガイドラインの適合に必要な検証準備、ならびに品質管理体制の強化に、当初の想定以上の期間と費用を要する見込みとなっております。加えて、主に中国大陆での医薬品の本格的な市場展開までには当初の想定以上の期間を要する見込みとなり、販売計画を見直しました。その結果、仙台新工場に今後の収益性の低下が認められることから、13,437百万円を特別損失として計上いたします。

**(2) タイ工場について**

タイ工場を運営するタイ製造子会社は、「熱さまシート」の生産能力増強および東南アジア地域における地産地消による安定供給体制の構築を目的として、2023年11月7日付の取締役会決議に基づき2024年1月19日に設立いたしました。当初は同工場の生産開始を2025年に予定しておりましたが、品質管理・安定生産体制の構築に、当初の想定以上の期間を要する見込みとなりました。その結果、タイ工場に今後の収益性の低下が認められることから、1,207百万円を特別損失として計上いたします。

## 2. 業績予想の修正について

2025年12月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想（A） (2025年11月11日発表)	171,000	14,000	15,300	10,500	141.25
今回修正予想（B）	165,700	14,900	16,900	3,600	48.43
増減額（B－A）	▲5,300	900	1,600	▲6,900	-
増減率（％）	▲3.1%	6.4%	10.5%	▲65.7%	-
（ご参考）前期実績 (2024年12月期)	165,600	24,860	26,861	10,067	135.42

## 3. 通期連結業績予想の修正の理由

売上高については、主に第2四半期までの国内の広告停止影響等により既存品が計画を下回って推移したこと、および中国大陆での発熱機会減少に伴い「熱さまシート」の需要が想定を下回ったこと等により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益については、広告再開の遅延による広告宣伝費の期ずれ等により、第3四半期までは計画を大幅に上回って推移しておりました。しかしながら、第4四半期においては広告宣伝費を増額したことに加え、売上高が期初計画を下回る見通しであることから利益の押し下げ要因となり、通期での上振れ幅は縮小したものの、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記営業利益等の増減に加え、本日公表の「1. 特別損失（減損損失）の計上」に記載のとおり減損損失を計上することから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

## 4. 2025年12月期 通期個別業績の前期実績値と当期見込値との差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前期実績（A） (2024年12月期)	126,658	23,682	26,343	10,541	141.80
当期予想（B）	124,900	11,100	14,400	2,700	36.32
増減額（B－A）	▲1,758	▲12,582	▲11,943	▲7,841	-
増減率（％）	▲1.4%	▲53.1%	▲45.3%	▲74.4%	-

## 5. 個別業績の前期実績と当期予想との差異の理由

売上高については、上期における国内広告停止の影響に加え、通信販売事業における定期購入解約等により前期実績を下回る見込みとなりました。

営業利益については、下期からのテレビCM等の広告宣伝活動の本格再開に伴う費用増に加え、品質向上に伴う人員確保等による固定費増等の影響により、前期実績を下回る見込みとなりました。

当期純利益については、前述の「1. 特別損失（減損損失）の計上」に記載のとおり、当社が保有する仙台新工場に係る固定資産の減損損失を計上したこと等により、前期実績を下回る見込みとなりました。

## 6. 配当予想

現時点では、本業績予想の修正に伴う2025年12月期の配当予想の変更はありません。

(参考情報)

### 仙台新工場の概要

所在地	宮城県黒川郡大和町松坂平4-3（仙台北部中核工業団地内）
建築概要	延床面積：26,300㎡ 建築面積：14,880㎡
生産品目	アイボン、アンメルツ、サカムケア、アルコール消毒剤など

### タイ製造子会社の概要（2025年12月31日時点）

会社名	KOBAYASHI Pharmaceutical Manufacturing (Thailand)Co., Ltd.
所在地	タイ王国バンコク都
株主	KOBAYASHI Pharmaceutical (Singapore) Pte. Ltd：1株 小林製薬株式会社：残り全て
資本金	6.9億バーツ
代表取締役	嶋内直哉
事業形態	医療機器、化粧品の製造業
設立日	2024年1月19日

### タイ工場の概要

所在地	タイ王国サムットプラカーン県
面積	土地：約12,000㎡ 建屋：約5,000㎡
生産品目	熱さまシート等

以上

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の決算手続きの過程で変動する可能性があります。